信州大学医学部附属病院　乳腺・内分泌外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

「乳癌術後内分泌療法中の有害事象と

BMI・骨格筋量の関連に関する後方視的研究」に関する臨床研究を

実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	**乳癌術後内分泌療法中の有害事象とBMI・骨格筋量の関連に関する後方視的研究**
所属(診療科等)	乳腺・内分泌外科
研究責任者(職名)	伊藤研一（教授）
研究実施期間	医学部長による許可日～2027年12月31日
研究の意義、目的	乳癌手術後のホルモン療法中に生じる脂肪肝などの副作用と、体格（BMI）や筋肉量との関係を調べ、今後の乳癌診療に役立てることを目的とします。
対象となる患者さん	2015 年 12 月 1 日～2026 年 4 月 30 日に当院で初めての乳癌の手術を受け、術後のホルモン療法開始後 12 か月以上の経過が確認できる方。初診時に遠隔転移がある方、術後 12 か月以内に再発した方、必要な血液検査・CT が確認できない方を除きます。副作用で早期に治療を中止した方も、12 か月以上追跡できれば含みます。
利用する診療記録	診断名、年齢、性別、閉経状況、病期・病理所見、治療内容・期間、身長・体重、既往歴・飲酒歴・併用薬、血液検査・CT 画像、副作用、治療中止・再発・経過の記録（2026 年 4 月 30 日まで）。
研究方法	診療記録を用い、CT で腰の筋肉量や肝臓の脂肪を測定し、BMI や筋肉量と脂肪肝・脂肪性肝炎などの副作用との関係を調べます。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	信州大学医学部外科学教室　乳腺内分泌外科学分野　森川大樹 （電話：0263-37-2657）

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。